

アル的なものは出来ているのか。

【答】 要請要領等マニュアルは出来ている。

【問】 顧問弁護士との選考の仕方と市内全体の弁護士との平等性は。

【答】 現在の方は合併以前からお願ひしている。また業務については平等にと考えている。

【問】 市民政策検討準備会の状況は。

【答】 第1回は委員の考え方を聞き、今後審議いただく予定である。

【問】 総合交通対策費の中で運賃収入はどのくらいか。

【答】 運賃収入は事業者に入るため、見込んでいない。

【問】 来年度、事業仕分けはどの程度行うのか。

【答】 市民政策検討委員会等で検討いただく。

【問】 防災計画に原発関係は入っているのか。

【答】 入っている。

【問】 デマンドバスを試行してみてもどうか。

【答】 運行するにしても地域の事情や利用者の声を聞いて行う。デマンドだけを行なう考えはない。

【問】 駅西の交流センターについての意見は市民政策検討委員会の中でやるのか。

【答】 駅周辺は別個に検討委員会を立ち上げる。

【問】 市税のコンビニ収納は、どこからでも納付出来るのか。

【答】 全国どこからでも365日24時間納付できる。

【問】 コンビニ収納の必要な経費は。

【答】 取扱手数料として1件あたり57円、月々基本料が1万5000円程度である。

【問】 コンビニ収納は徴収率を上げることになるのか。

【答】 市民サービスの一環。ただし、早期の収入確保により収納率アップを期待している。

【問】 国体におけるリハールと冬季大会との

予算配分は。

【答】 リハールに3000万円、冬季大会に1億7600万円、事務の運営に800万円だ。

【問】 勤労青少年ホームの利用状況は。

【答】 平成21年度、延べ約2万1000人である。

福祉保健委員会



丹生川支団町方消防団車庫

【問】 図書館の図書購入費は指定管理料の中に含まれているのか。

【答】 含まれている。

平成23年度 高山市一般会計の福祉保健委員会に関する予算については、賛成多数で原案の通り可決するものと決めました。

【問】 新設される市民生活総合相談窓口の内容と、プライバシーへの配慮は。

【答】 福祉課内に嘱託職員を2人配置。各課と連携してすべてに対応したい。プライバシー保護のためブースを設けて対応する。

【問】 出合いイベント予算拡充の中身は。

【答】 イベント内容のほか、回数や男性セミナーなども拡充する予定。

【問】 老人クラブ活動費などの補助について、連合長寿会からの退会の防止策はないか。

【答】 事務局を社会福祉協議会に移し、連携の中で活動の促進に努めたい。

【問】 DV被害者支援のための予算は。

【答】 50万円で、周知のためのPRや、職員

研修、相談窓口、カードや新聞折込による啓発などを考えている。

【問】 障がい児通園事業について、あゆみ学園は手狭だが、県の希望が丘学園との連携は。

【答】 スタッフの指導や研修などをお願いして、療育に対する問題共有に努めている。

【問】 老人福祉費の外出支援事業は、土曜日に実施されず人工透析の方の外出が限られるが。

【答】 調整中であるが、高山地域は祝祭日はできない。支所地域については今後検討する。

【問】 福祉サービスの提供と負担について市の方針は。

【答】 安全安心の生活のため負担をお願いしているが、負担増にならない工夫が必要だと考えている。

【問】 小児用肺炎球菌、ヒブ、子宮頸がんの3ワクチン接種が無料となったが、保護者らへの内容説明が必要ではないか。

【答】 50万円で、周知のためのPRや、職員

【答】 専門医師による講習会、対象者へのパンフ配布、PTAなどでの説明の上で、希望する人に接種する。

【問】 自殺者の実態と市の対応は。

【答】 県内はやや減少、若年層の自殺が増えており、市も自殺予防につながる相談日を設ける予定。

【問】 高齢者医療費の伸びの理由と内容は。

【答】 循環器系、がん、内分泌系、歯科の4つで全体の6割を占めており、特定健診による保健指導で生活習慣病の予防に努めている。

平成23年度 高山市国民健康保険事業特別会計予算については、賛成多数で原案の通り可決するものと決めました。

【問】 保険料収入を減らす理由と対応は。

【答】 総所得の減少と3・56%見込んでおり、基金の繰入金5億円を充てる。